

理科

—小学校第6学年用—

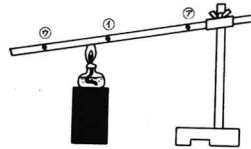
注 意

1. もんだいは、先生のさしずをよく聞いてやりなさい。
2. 「はじめ」といったらはじめ、「やめ」といったらやめなさい。
3. 答えは、きめられたとおりに書きなさい。
4. わからないところがあったら、とばして前にすすみなさい。
5. できたら、なんども見なおしなさい。

福島県教育センター

1. つぎの図のように、細い金属のぼうの⑦、⑧、⑨のところにろうをつけ、アルコールランプで熱してぼうのあたためり方を調べました。

(1)、(2)の問いに答えなさい。



(1) 金属のぼうは、どのようなあたためり方をしましたか。つぎのア～オの中から、正しいもの一つえらび、その記号を□の中に書きなさい。

- ア ⑦→⑧→⑨ の順にろうがとけた。
- イ ⑧→⑨→⑦ の順にろうがとけた。
- ウ ⑦→⑧→⑨ の順にろうがとけた。
- エ ⑧→⑨→⑦ の順にろうがとけた。
- オ ⑦、⑧、⑨ のろうが同時にとけた。

①

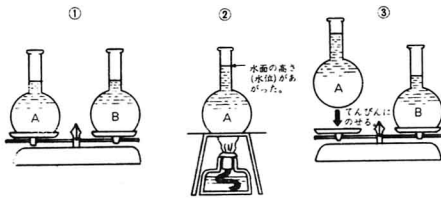
(2) (1)で答えたような熱のつたわり方をなんどいいますか。つぎのア～エの中から正しいもの一つえらび、その記号を□の中に書きなさい。

- ア 移動 イ 対流 ウ 伝導 エ 伝熱

②

- 1 -

2. 水の温度のちがいによる体積と重さの関係を調べるため、下の図のように、①～③の順序で実験をしました。



- A、Bのフラスコに同じ体積の水を入れる。
- Aのフラスコの水をあたためる。
- あたためられ、体積のふえたAのフラスコを、もう一度てんびんにのせる。

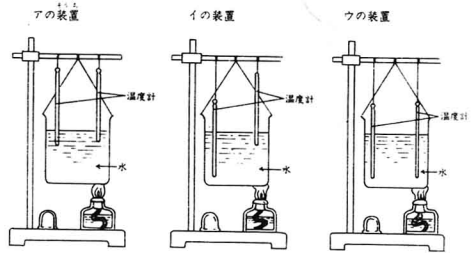
③で、てんびんのつり合いはどのようになりますか。つぎのア～ウの中から正しいもの一つえらび、その記号を□の中に書きなさい。

- ア Aの水は、あたためられ体積がふえ軽くなったので、Bの方にかたむく。
- イ Aの水は、あたためられ体積がふえ重くなったので、Aの方にかたむく。
- ウ Aの水は、あたためられ体積がふえても、重さは変わらないため、AとBはつり合い、てんびんのうては平になっている。

③

- 2 -

3. 対流による水のあたためり方を調べるために、つぎの図のような装置を作りました。(1)、(2)の問いに答えなさい。



(1) 対流による水のあたためり方を調べる装置として、もっとも適当なものを一つえらび、その記号を□の中に書きなさい。

(2) 調べるとき、どのようなことに注意したらよいでしょうか。つぎのア～ウの中からもっとも適当なものを一つえらび、その記号を□の中に書きなさい。

- ア 温度を測定するときは、よくかきまぜてから測定する。
- イ 水がよくあたまるように、ときどきしずかにかきまぜる。
- ウ 実験中は、ぜったい水をかきまぜない。

(1)	(2)
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

④

- 3 -